30cmリビング扇保証書

本書は、お買上げの日から下記期間中故障が発生した場合に、下記内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

〈無料修理規定〉

1.取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常なご使用状態で保証期間中に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 (イ)無料修理をご依頼になる場合には、お買上げの販売店に製品と本書をご持参ご提示いただきお申しつけください。
 (ロ)お買上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、株式会社ユーイングにご連絡ください。
2.ご転居の場合の修理ご依頼先などは、お買上げの販売店または株式会社ユーイングにご相談ください。
3.ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、株式会社ユーイングへご連絡ください。
4.保証期間中でも次の場合には原則として有料とさせていただきます。
 (イ)ご使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 (ロ)お買上げ後の落下、移動、輸送などによる故障及び損傷。
 (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定以外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷。
 (ニ)車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
 (ホ)一般家庭用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障及び損傷。
 (ヘ)本書のご提示のない場合。
 (ト)本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
5.本書は日本国内においてのみ有効です。
 This warranty is valid only in Japan.
6.本書は、盗難、火災などの不可抗力以外で紛失された場合は、再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買上げの販売店または株式会社ユーイングにお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書をご覧ください。

・保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
・修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規定を厳守させますので、ご了承ください。

品　　番	UF-AR30F		
保証期間	対象部分	期間(お買上げ日より)	保証の条件
	本体	1　年	持込修理
お買上げ日	年	月	日
お客様	お名前 ご住所 電　話　　　　様		
販売店	販売店名 ご住所 電　話　　　　印		

株式会社ユーイング

【お客様相談室】TEL 0120-911-597 (無料)

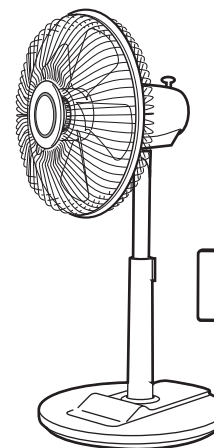
〒639-1124　奈良県大和郡山市馬司町800番地

受付け時間　：　月曜日から金曜日 (祝日・当社休日は除く)午前9時～午後5時

30cmリビング扇風機

取扱説明書

品番	UF-AR30F

このたびは、扇風機をお買上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくご使用ください。お読みになった後は、大切に保管していただき、取り扱いのわからないときや、不具合が生じたときにお役立てください。

保証書添付

8時間 入切タイマー

リズム風

マイコン

リモコン

愛情点検　長年ご使用の扇風機の点検を!!

ご使用の際このような症状はありませんか？

・電源を入れても、動かないときがある。
・電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
・運転中に異常な音や振動がする。
・こげ臭いにおいがする。
・差込みプラグ、電源コード、本体などが異常に熱い。
・その他の異常、故障がある。

ご使用中止

故障や事故の防止のため、運転を停止し、コンセントから差込みプラグを抜いて必ず販売店に点検・修理をご相談ください。
なお、点検・修理についての費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。

仕様

品番	UF-AR30F	
電圧 (V)	100	
周波数 (Hz)	50	60
消費電力 (W)	42.5	47
回転数 (r/min)	1035	1015
風速 (m/min)	191	183
風量 (m^3/min)	48	45
首振角度 (度)	75	
コード (m)	ビニルコード　1.6	
高さ (mm)	670～840	
質量 (kg)	3.3	

●この製品は、海外ではご使用になれません。FOR USE IN JAPAN ONLY .

1301-2

安全上のご注意

ご使用の前に、この『安全上のご注意』をよくお読みの上、正しくお使いください。

この扇風機は、羽根の回転による風で涼感を得たり、室内の空気を循環させるために使用するもので、一般家庭用として生産されたものです。これ以外のご使用は絶対しないでください。この用途以外(観賞魚・植物・ペット用など)及び一般家庭用以外(業務用など)でご使用になった場合の故障・修理・事故・その他の不具合については、責任を負いかねますのでご了承ください。

表示について

※ここに示した『安全上のご注意』は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防止するためのもので、『警告』『注意』の２つに分けてお知らせしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告 取り扱いを誤ると死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示します。

注意 取り扱いを誤ると傷害を負う可能性または物的損害のみが発生すると想定される内容を示します。

表示の例

■お守りいただく内容の種類を、絵記号で区分し説明しています。(下記は絵記号の一例です。)

この記号は、してはいけない『禁止』内容です。

この記号は、必ず実行していただく『強制』内容です。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告

製品に異常がある場合は、ただちに使用を中止してください。

●ケガや発火の原因になります。

分解禁止

絶対に分解したり、修理・改造を行わないでください。

●異常動作してケガや発火の原因になります。

禁止

羽根・ガード・スタンドベースをつけずに高さ調節ボタンを押したり、モーターを運転しないでください。

●ケガの原因になります。

禁止

交流100V以外では使用しないでください。

●異常発熱して、火災の原因になります。

禁止

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたり、重い物をのせたり、挟み込んだり、加工したりしないでください。

●電源コードが破損し、火災、感電の原因になります。

水ぬれ禁止

水につけたり、水等をかけたりしないでください。

●ショート・感電のおそれがあります。

プラグを抜く

お手入れの際は、必ず差込みプラグを抜いてください。

ぬれ手操作禁止

ぬれた手で抜き差ししないでください。

●不意に作動して、ケガをしたり、感電の原因になります。

禁止

電源コードや差込みプラグが傷んだり、破損しているときは使用しないでください。

●感電・ショート・発火の原因になります。

禁止

コンセントの差込みがゆるいときは、使用しないでください。また、差込みプラグとコンセントの間にホコリや金属や水分を付着させないでください。

●感電・ショート・発火の原因になります。

注意

禁止

風を長時間、からだにあてないでください。

●健康を害することがあります。
特に乳幼児、お年寄り、ご病気の方にはご注意ください。

禁止

油や薬品のかかる場所で使用しないでください。
スプレーをかけないでください。
(殺虫剤、整髪用、掃除用等)

●樹脂や塗装部分が変質したり、破損の原因になります。

禁止

次の場所では、使用しないでください。(ガスレンジ等の炎の近く、引火性ガスのある所、雨や水のかかる場所)

●炎の立ち消え、引火・爆発やショートして火災・感電の原因になります。

プラグを抜く

外出するときなど使用しないときや何か異常があった場合はすみやかに差込みプラグを抜いてください。

●事故の原因になります。また、思わぬ誤動作を生じることがあります。

可動部へ接触禁止

ガードの中や可動部へ指などを入れないでください。特に移動する際にはご注意ください。

●ケガの原因になります。

禁止

障害物(カーテン等)の周囲や不安定な場所で使用しないでください。

●破損や故障の原因になります。

禁止

製品を倒さないでください。

●羽根が割れたり、故障や事故の原因になります。

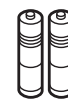
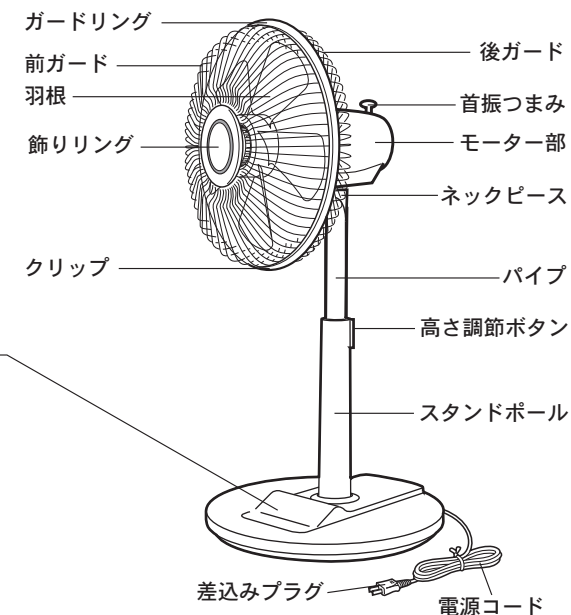
禁止

扇風機カバーをご使用の場合、ホコリ等がつまった状態で使用しないでください。

●モーター部が過熱し、故障や事故の原因になります。

差込みプラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って引き抜いてください。

●感電やショートして発火することがあります。

各部の名称

※製品は、絵と少し違うことがあります。

組み立て方

●ご使用の前に次の順序で正しく組み立ててください。
●包装ケースは、保管するときに必要ですから捨てないでください。
●ガード、羽根を取り付けていない状態では、モーター部をお望みの角度（上下）に調節できません。

⚠ 警告

禁止　組み立て前、あるいは組み立て中に差込みプラグをコンセントに差し込まないでください。
●モーター軸が回り出し、ケガの原因になります。

禁止　組み立て前、あるいは組み立て中に『高さ調節ボタン』を操作しないでください。
●モーター部が飛び出して、ケガの原因になります。

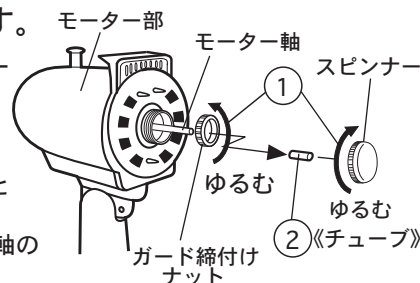
1 スタンドベースとスタンドポールを組み立てます。

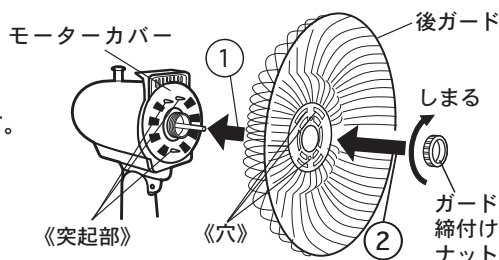
① スタンドポールからスタンド固定ナットをはずします。
② 平らな安定した場所に置いたスタンドベースにスタンドポールの《突起部》を差し込みます。
③ スタンドポールをスタンドベースに押し込み、スタンドポールの《ツメ》がスタンドベースに「カチッ」と音がするまで押し込みます。
④ スタンドベース底部よりスタンド固定ナットで使用中にゆるまないようにしっかりと締め付けてください。

ご注意　スタンドポールをスタンドベースに差し込むとき、高さ調節ボタンを押さないように注意してください。

2 モーター部の下記部品をはずします。

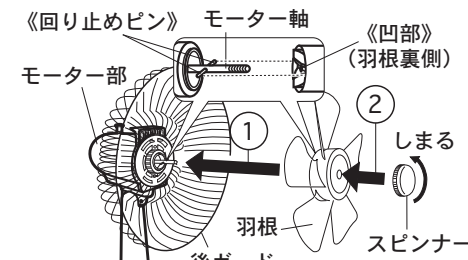
① スピンナーとガード締付けナットはモーター部についていますので『ゆるむ』の方向にはずれるまで回してください。
② モーター軸の《チューブ》をはずします。（チューブをはずさないと羽根をつけることができません。）

※チューブは扇風機を保管するとき、モーター軸のサビ防止となりますので捨てないでください。

3 後ガードを取り付けます。

① モーターカバーの《突起部》に後ガードの《穴》を合わせます。
※２つ穴の開いている方を上にします。
② ガード締付けナットを『しまる』の方向に回して、後ガードが使用中にゆるまないようにしっかり締め付けてください。

⚠ 警告

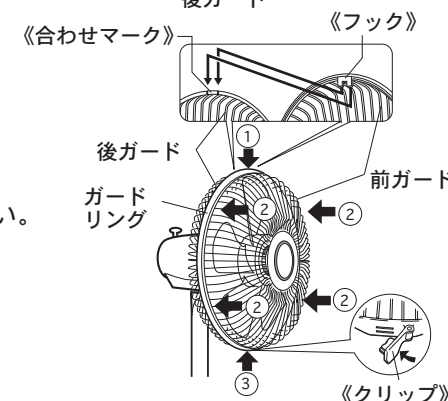
ガード締付けナットとスピンナーは、使用中にゆるまないようにしっかりと締め付けてください。
●締め付けが不十分ですと、ガードと羽根が接触して羽根割れの原因となります。

4 羽根を取り付けます。

① 羽根の《凹部》とモーター軸の《回り止めピン》が合うようにして羽根を差し込みます。
② スピンナーを左回転『しまる』の方向へ回して、羽根が使用中にゆるまないようにしっかり締め付けてください。

5 前ガードを取り付けます。

① 前ガードの《フック》を後ガードの《合わせマーク》に合わせて掛けます。
② 前ガードの全周を押さえて上から下へ順番に後ガードへ確実にはめ込みます。
③ 《クリップ》は前ガードと後ガードをはさみ込むように確実に止めてください。

前ガードをはずすときは･･･

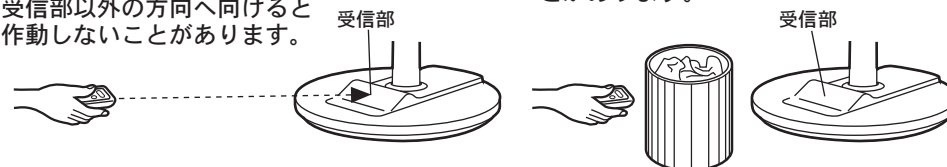
●《クリップ》をはずし、ガードリングの真下を手前に引き、前ガードをはずしてください。

使い方

■はじめてご使用になるときは、少し臭いが発生することがありますが、ご使用にともない消えます。
■操作は、リモコンと本体操作パネルの両方でできます。
■各ボタンを押すたびにブザー音がします。
■差込みプラグを交流100Vのコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
■差込みプラグの抜き差しは運転を停止してから行ってください。

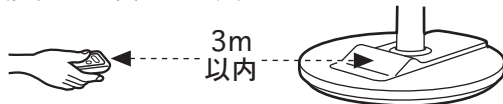
禁止　操作パネル部に水・お茶・ジュース等を絶対にこぼさないでください。もしこぼした場合はご使用を中止し、お買上げの販売店で点検を受けてからご使用ください。
●事故や故障の原因になります。

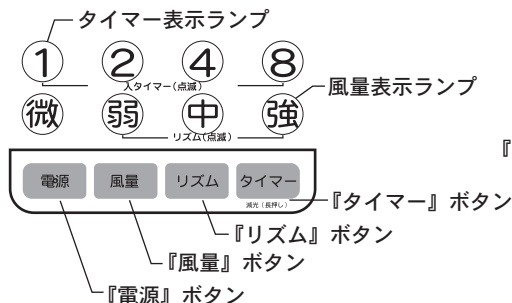
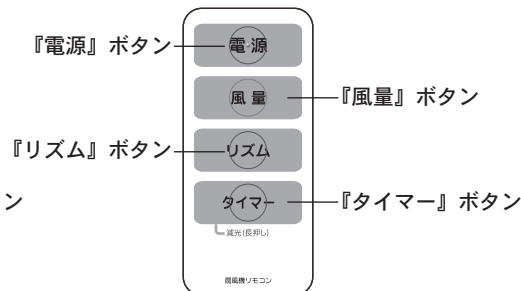
リモコン操作上のご注意

■リモコンの送信部をスタンドの受信部に向けて操作してください。
●受信部以外の方向へ向けると作動しないことがあります。

■リモコンの送信部とスタンドの受信部との間に障害物があると作動しないことがあります。

■電池が消耗しますと、遠隔操作のできる範囲が狭くなりますので、ご注意ください。
■インバーター式の照明器具の下や、直射日光の下では、リモコンの受信感度が落ち、作動しないことがあります。
■運転中に停電した場合や、差込みプラグが抜けた場合、『切』になりますのではじめから操作し直してください。

リモコン取り扱いについてのご注意

●下図は目安で、お部屋の大きさ、製品の置き場所などで異なります。

●リモコンは落としたり、強い衝撃を与えたり、水などでぬらさないでください。

本体・リモコン操作部名称

ボタンの使い方

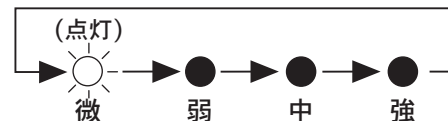
■『電源』ボタン

●押すたびに電源の入/切が切り換わり、風量表示ランプが点灯します。
※差込みプラグをコンセントに接続し、最初にボタンを押したときは『微』で運転を開始します。

メモリー機能について

一度設定した運転状態で再度運転する記憶機能です。
●本体やリモコンの『電源』ボタンで運転を停止した場合、停止前の設定で運転を開始します。
●タイマー・減光表示の設定は記憶されません。
●停電や差込みプラグを抜くと、記憶されている内容は消えます。

■『風量』ボタン

●押すたびに風量が切り換わり、風量表示ランプが右図のように切り換わります。

※『微』『弱』『中』『強』どれか一つでも不具合が生じた場合には、ただちに使用を中止してください。(例:『強』に不具合が生じたが、『微』『弱』『中』であれば正常に作動する。)

■『リズム』ボタン

●『弱』『中』『強』運転中にボタンを押すと現在設定されている風量のリズム運転に切り換わります。
●リズム運転中に『風量』ボタンを押すと下図の様に切り換わります。
※『強』リズム運転中に『風量』ボタンを押すと『弱』リズム運転に切り換わります。

リズム風は下図のような周期で変化します。

※『微』でリズム運転はできません。
『微』運転中にリズムボタンを押すと「ピピピッ」と音が鳴り、設定は変わらないことをお知らせします。

●リズム運転から通常運転に戻す場合は、再度『リズム』ボタンを押すと、風量表示ランプが点滅から点灯に切り換わり、通常運転に戻ります。

■各表示ランプの明るさを抑えて『減光』表示させる場合

●『タイマー』ボタンを長押しすることで、各表示ランプの明るさをおさえて『減光』表示することが出来ます。
●各表示ランプの明るさを元に戻し『減光』表示を解除する場合、『タイマー』ボタンを長押しします。
※周囲が明るい場合、『減光』表示させると各表示ランプは見えにくくなるためご注意ください。

■『入タイマー』/『切タイマー』ボタン(最大8時間)

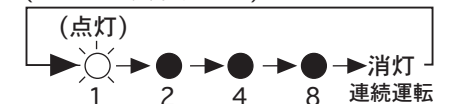
※入タイマーと切タイマーは同時にセットできません。

●『1』『2』『4』『8』時間の4段階でタイマーをセットすることができます。
●タイマー設定中に差込みプラグが、抜けた場合や停電した場合は『切』になりますので初めから操作をやり直してください。

切タイマー

●設定した時間になると自動的に運転を停止します。

1 『電源』ボタンを押して運転を開始します。
●切タイマーは、運転中でないとセットできません。

2 『タイマー』ボタンを押してお望みの時間を設定してください。
●ボタンを押すたびにタイマー設定時間が切り換わり、タイマー表示ランプが点灯します。
●時間がたつとタイマー表示ランプが切り換わり、残りの時間を表示します。
●設定時間になると、タイマー表示ランプが消え、自動的に停止します。

入タイマー

●設定した時間になると自動的に運転を開始します。

1 運転を停止させた状態にします。
（差込みプラグがコンセントに差し込まれているのを確認してください。）
入タイマーは、運転停止中でないとセットできません。

2『タイマー』ボタンを押してお望みの時間を設定してください。
●タイマー表示ランプが点滅し、押すたびにタイマー設定時間が切り換わります。10秒後に設定が確定し、タイマー表示ランプがゆっくりした点滅に変わります。

（タイマー表示ランプ）

※入タイマー設定中から運転開始までは、各表示ランプは『減光』表示されます。
入タイマー設定中は、各表示ランプが見えにくいのでご注意ください。

3『風量』ボタン、『リズム』ボタン、モーター部『首振つまみ』を操作してお望みの設定にしてください。
●風量表示ランプの『風量』（点灯）『リズム』（点滅）は設定確定後、消灯します。
●『タイマー』『風量』『リズム』『首振つまみ』はタイマー設定確定後でも自由に変更できます。

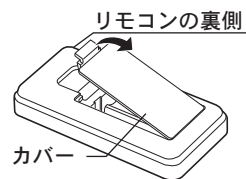
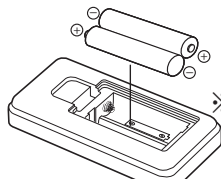
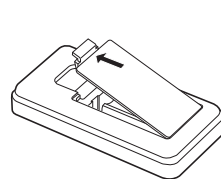
設定確定後

●時間が経過するとタイマー表示ランプが切り換わり、残りの時間を表示します。
●設定した時間になるとタイマー表示ランプが消え、設定された状態で運転を開始します。
●入タイマー設定確定後に『タイマー』ボタンを1回押すと、設定した内容が表示され、さらにもう1回押すとタイマーの時間を設定し直すことができます。
●差込みプラグを抜かずに入タイマー予約だけをセットした場合は、停止前の風量、設定で運転を開始します。
●差込みプラグを入れ直し、入タイマー予約だけをセットした場合は『微』で運転を開始します。
●入タイマー設定後は、『タイマー表示ランプ』がゆっくりと点滅します。(『風量表示ランプ』は消灯)

※タイマーを取り消す場合は・・・
●入タイマー予約表示ランプが消灯するまで『タイマー』ボタンを押してください。

お知らせ
10秒間何も操作しなかった場合入タイマー表示ランプがゆっくりとした点滅に変わり、その他の表示ランプは消灯しセットが完了されます。
セットしたあと『風量』『タイマー』『リズム』のいずれかのボタンを押すと設定内容の確認ができます。
再設定する場合は『風量』『タイマー』『リズム』ボタンを押して設定し直してください。

電池交換のしかた及びご注意

1 リモコン裏側のカバーを図のようにはずします。

2 乾電池を正しく入れます。（単四電池DC1.5V 2本）

3 カバーを取り付けます。

ご注意
■電池は、使い方を誤ると電池の液漏れで製品が腐食したり、電池が破裂するおそれがあります。
■ ⊕ ⊖ をリモコンの表示に合わせて、正しく入れてください。
■電池は、充電、ショート、分解、加熱しないでください。
■電池は、使えなくなったら、すぐ取り出して処分してください。
■電池を交換するときは、2本とも新しい電池と交換し、使用した電池と混ぜて使用しないでください。また同じ種類の電池を使用し、違う種類の電池を混ぜて使用しないでください。
■シーズン終了後、電池は必ず抜いて保管してください。

首振つまみの使い方

●押し込むと・・・首振りをします。
●引き上げると・・首振りが停止します。

禁止

首振運転中に、無理やりガードを停止させたり、回したりしないでください。
●無理やりガードを停止させたり、障害物にあたる等すると羽根の回転が止まることがあり、故障の原因になります。

（首振つまみ　首振↓　停止↑）

※リモコンで首振りの操作はできません。

コード収納ケースの使い方

■電源コードが入っています。
●ご使用時以外、電源コードを収納することができます。
●扇風機を使用する場合は、電源コードを全てコード収納ケースから出してください。

風向きの変え方

■風向きを上下に変えたいとき

フリーネック式

●モーター部を持って上・下に変えます。

■風向きを左右に変えたいとき

自由首振式

●モーター部を持って左・右に変えます。

⚠警告　禁止
使用中にガードを持って、上下・左右に風向きを変えないでください。
●ガードを持ってむりやり強く操作すると、羽根がガードにあたる場合があり、羽根が破損し、ケガをするおそれがあります。

扇風機を移動する際に・・・

■扇風機を移動する際は、ガードにガタツキがないかを確認してください。
■羽根が回転している状態では移動しないでください。

高さ調節ボタンの使い方

●高さ調節ボタンを押しながら、パイプを上または下にスライドし、お望みの高さに調節してください。
●持ち運びする場合には、パイプを一番下に押し下げて固定してください。（中間では固定できません。）

禁止

羽根・ガード・スタンドベースをつけずに高さ調節ボタンを押さないでください。
●ケガの原因になります。

お手入れと保管について

お手入れのしかた

●お手入れ前に運転を停止し、必ず差込みプラグを持ってコンセントから抜いてください。
●羽根、本体の汚れは、ぬるま湯か中性洗剤を浸した布でふき取った後、柔らかい布で乾拭きしてください。
●シンナー、ベンジン、アルカリ洗剤、灯油、ベンゾール、アルコール、みがき粉などでふかないでください。(樹脂や塗装部分が変色、変質するおそれがあります。)
●化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしておきますと、変質したり塗装がはげたりすることがありますので、ご注意ください。
●長い間ご使用になると、差込みプラグとコンセントの間にホコリや水分が付着することがありますので、差込みプラグを抜き、乾いた布でふきとってからご使用ください。

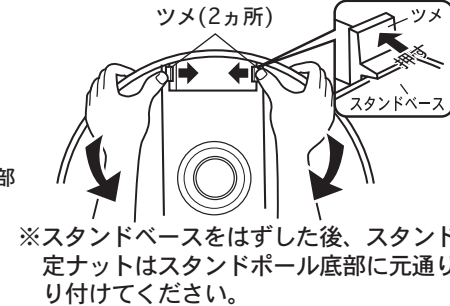
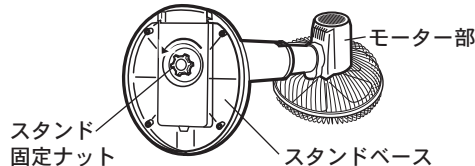
保管のしかた

●保管の前に運転を停止し、必ず差込みプラグを持ってコンセントから抜いてください。
●スタンド部分は次の順序で分解してください。

スタンドベースのはずし方

1 モーター部を上にして本体を横にします。スタンドベース底のスタンド固定ナットを矢印の方にまわしてはずします。

注意 必ずガードを取り付けた状態で行ってください。
●モーターの故障の原因になります。

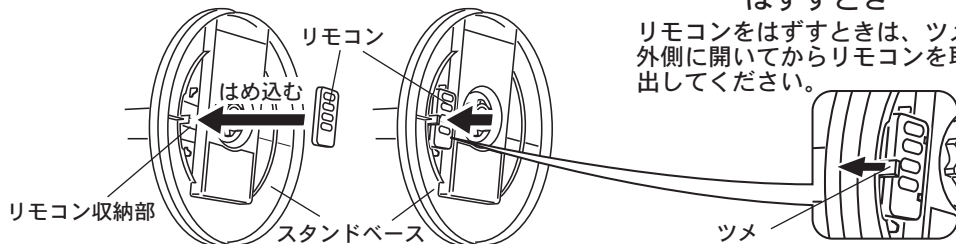
2 ツメを親指で内側に押しながらスタンドベースを手前に引くようにしてはずします。

※スタンドベースをはずした後、スタンド固定ナットはスタンドポール底部に元通り取り付けてください。

●ガード及び羽根は『組み立て方』と逆の順序ではずしてください。
●モーター軸は、よく汚れを取った後、全面にうすくミシン油をひき、もとどおりにチューブをかぶせてください。
●本体や羽根についた油はよくふき取ってください。樹脂が変色したり破損するおそれがあります。
●包装ケースの説明図どおりに包装してから湿気の少ないところに保管してください。

リモコンの収納のしかた

●収納の前に運転を停止し、必ず差込みプラグを持ってコンセントから抜いてください。
リモコン収納箇所はスタンドベース裏面にあります。

はずすとき

リモコンをはずすときは、ツメを外側に開いてからリモコンを取り出してください。

※扇風機を倒す際は、『スタンドベースのはずし方』と同様にモーター部が上になるように本体をしっかり持って落としたりしないよう注意して倒してください。

修理サービスを依頼する前に

■故障かなと思ったときは、つぎの点をお調べになってからお買上げの販売店にご相談してください。

こんなとき	おたしかめください
『電源』ボタンを押しても羽根が回らない	●差込みプラグは、コンセントにしっかり差し込まれていますか? ●羽根とガードが当たっていませんか？ ●リモコンの電池が古くなっていませんか？
『リズム』ボタンを押してもリズム運転にならない	●風量が『微』で運転されていませんか? ※『微』でリズム運転はできません。『微』で運転中『リズム』を押すと電子音が「ピピピッ」と鳴って設定できないことをお知らせします。
異常音がする	●羽根はしっかりと取り付けていますか？ ●ガードはしっかりと取り付けていますか? ●羽根とガードが当たっていませんか?

分解禁止
絶対に分解したり修理・改造を行わないでください。

修理サービスについて

(1)保証書
●この製品には、保証書がついています。
保証書は、お買上げの販売店で『販売店名・お買上げ日』などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間は、お買上げ日より1年間です。
(2)修理を依頼されるとき
●保証期間中でも
保証書のご提示なき場合、有料修理となることがあります。
●保証期間が過ぎているときは
修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
(3)補修用性能部品の保有期間
この扇風機の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の保有期間は、製造打切後８年です。
(4)ご使用中ふだんと変わった状態になりましたら、ただちにご使用を中止し、お買上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。
●お客様ご自身での分解・修理は危険です。修理には特殊な技術が必要です。
(5)修理サービスについてご不明な場合
修理サービスや製品についてのご相談は、お買上げの販売店または株式会社ユーイングにご依頼ください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)
※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を本体に行っています。

【製造年】(本体に西暦4桁で表示してあります)

⚠ ※【設計上の標準使用期間】10年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

(設計上の標準使用期間とは)
※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

■標準使用条件　　日本工業規格 JIS C 9921-1による

環境条件	電圧	単相100V又は単相200V	製品の定格電圧による。
	周波数	50Hz及び60Hz	
	温度	30℃	
	湿度	65％	
	設置	標準設置	機器の取扱説明書による。
負荷条件		定格負荷(風速)	機器の取扱説明書による。
想定時間など	運転時間	8(h／日)	
	運転回数	5(回／日)	
	運転日数	110(日／年)	
	スイッチ操作回数	550(回／年)	
	首振運転の割合	100(％)	
注記　環境条件の湿度65％は、JIS Z 8703の試験状態を参考としている。			

●「経年劣化とは」・・・長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。